

### 3 授業での新聞活用

#### (6) 道徳での実践

児童は道徳の時間が大変好きです。理由を聞いてみると自分の考えをたくさん発表できるからと答える児童が多いようです。道徳の学習は学校での教育活動全体で行いますが、その核として副読本などの資料をもとに道徳的価値について学習します。

しかし、私の経験ですが、高学年に進んでくるに従って、児童は副読本の資料のみでは飽き足らなくなってくるようです。また、国語の読み取りのように考え、「おそらく先生はこういう答えを期待している」と思われることを言う児童も増えてきます。

そこで、数年前から道徳の学習でも新聞の活用を行っています。資料だけでは味わえないリアルな現実を児童に示すことによって、児童は積極的に学習に取り組むようになって考えています。

#### ・「マナーについて考えよう」

副読本で、公共のマナーについて学習した後に、参考資料としてリアルな現場での事例を示したり、普段のNIEコーナーのような場所に貼って、児童が考えを交換し合えるような資料を提示したりすることが考えられます。下の記事は、公共の場でのベビーカーの使用が取り上げられているものですが、ベビーカーを使う側と、そうでない側のどちらの立場からも考えを深めることができる大変よい資料だと思います。ぜひ授業の中で活用したい記事です。

この記事をもとに児童が自分なりの考えをもち、友達と意見を交換するような言語活動を取り入れることができれば、「マナー」についての意識も高まってくると思います。

朝日新聞 2013年1月12日 夕刊 8ページ 東京本社

電車やバスの中でベビーカーは「邪魔者」なのか。首都圏の鉄道会社など昨年作ったベビーカーへの理解を求めるポスターに批判が寄せられたという。少子化の時代、乳幼児を連れたママも、まわりの乗客も、気持ちよく利用するにはどうしたらいいのだろうか。

東京都板橋区の秩原あやさん(98)は、1歳10カ月の息子と連れて時々電車に乗る。駅まで徒歩15分。以前は抱っこひもだったが、体重が10kgを超え、腰に限界が来て、ベビーカーを使うようになった。

働いていた時は「混んでる車内にベビーカーなんて非常識」と思っていたが、子育てを始めて母親の苦労が分かった。「お互い様の気持ちで見守りあえればいいのに」

首都圏の鉄道会社と東京都が昨年「赤ちゃんを守るのは、みんなの思いやりです。」と記したベビーカー利用に理解を求めるポスターを駅に張り出したところ、ベビーカーに批判的な声が多く寄せられたという。

朝日新聞社全部のツイッター(@Asahi\_Shikaku)を通じて、公共交通機関でのベビーカー利用について意見を募ると、ただ一人で乗ると危険に重くて大変という子育て世代からの切実な声が多寄せられた。

4歳の娘がいる女性は「車内でたまたま、抱っこしながら大きな荷物を持っ

「ベビーカーを支えなければならずツラかった。そして乗客の冷たい視線。小学生の娘や人の母親は以前「バスの車内ではよっ」と動いただけで、そんなもの持ってくるからだと運転手に怒鳴られた」。

一方「ぶついても謝らない」「閉まりかけたドアに突っ込んだり、ベビーカー利用者のマナー違反を指摘する声も。高校生の子供がいる女性が「空のベビーカーを広げたらママの人も、乗せないなら畳んで欲しい」。

「私の年代では乗り物ではおんぶが抱っこ。本誌に大変でしたが、そんなもの思っていました」という。首都圏や関西の鉄道各社がベビーカーを広げて乗ることを認めたのは1999年頃。ただ、多くの会社は「混雑時は配慮を」などと分析する。「利用者がお騒がせしてすみません」と添えたり、周りの人が見守るだけじゃなく、荷物持ちのベビーカーも変化したという。ベビーカーが会社からなるベビーカー安全協議会によると、かつての主流は「扉直」「コンバクト」。

しかし、海外製が普及し始めた5年ほど前から、乗り心地や安定感を重視し、「大型化」が進む。ただ、メーカー側はたまたま乗ることを推奨してはならない。アップリカは取り扱ひ説明書の注意事項に「電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません」と明記、ストッパーをかけるよう呼びかけている。コンビの担当者も「車内の利用はあくまで自己責任の範囲」とする。公共交通機関でのマナーに詳しい谷口綾子・筑波大講師は、「子育て環境が劇的に変化し、世代や人によって受け止め方に大きな差がある」と指摘する。2009年前まではおんぶが抱っこが当たり前だったが、現在は、母親の孤立が問題となり、外出も奨励されるようになった。

谷口さんは、不快に思う一因は「何を考えているかわからない」とにあること。分析する。「利用者がお騒がせしてすみません」と添えたり、周りの人が見守るだけじゃなく、荷物持ちのベビーカーも変化したという。ベビーカーが会社からなるベビーカー安全協議会によると、かつての主流は「扉直」「コンバクト」。

④ベビーカーで改札に向かう。車内では子どもを抱いてベビーカーをたたいたのも一昔だ。東京・JR波合駅、北林晃治撮影。首都圏の鉄道24社と東京都が作ったポスター

© 朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

(2013. 1. 12朝日新聞)